

憧れのボート
釣りを實現
させるための
第一歩!!



ほろ酔いを釣る
バス釣り
清涼剤
Part 2



実録!! (二級小型船舶操縦免許)

ボート免許 取得への道

バス釣りにハマっていき「いつかはボートに乗ってカッコよく釣ってみたい」という思いが強くなる…。けど、ボートフィッシングをするために絶対に避けては通れない道が小型船舶操縦士免許だ。その取得方法をイチから教えるゾ!

目指せキャプテン!
新米編者部員

ツバサ

ルアマが編集部内最年少の編者部員。年々地盤のよくなっていきお前の年齢と、バス釣り雑誌編者でありながら年間バス釣回数が増えることに喜びを感じる28歳のアラサー男子。



申請には、本誌記載の住民票の通(うち1枚コピー可)、バスボートサイズの証明写真3枚、スクールでとられる委任状の通、印鑑が必要だ。



まずはスクールに向いて申請。スクールまで行けない場合は、郵送で対応可能なスクールも多いので電話等で確認。講習料などをココでお支払いする。

- 申請
- ↓
- 学科講習(1日)
- ↓
- 実技講習(1日)
- ↓
- 試験(学科+実技)(1日)

免許取得!!

二級小型船舶免許は、学科講習1日、実技講習1日、学科+実技試験1日の計3日間で取得可能。意外と短期間で取れるでしょ?!

ツバサの
1 アドバイス

テキストを手に入れたらすぐ予習を! 学科講習での身に付き方が格段に違いますよー!

申請

車の免許ほど日数はかからない
計3日分空けられればOKだ!!



免許の級数の違いで航行範囲などが変わってくる。一級なら海まで行けるが取得費用が少々高め。湖川小出力限定では、取得してもバスボートクラスの大きいボートには乗れない。そう考えていくと、ボートでのバス釣りを始めたい人が取る免許は、二級が◎ということになる。

現在、小型船舶の免許は計4種類。その中でも二級の免許を取れば、一般的にバス釣りに使用されているボートなら、どんなボートでも操縦可能だ。また、二級には「湖川小出力限定」という免許もある。この免許で乗れるボートは、大きさが5トン未満で推進機関出力も15kW(約20馬力)未満。航行区域も湖川限定で、普通道の2級より少し劣るが、小出力のボート(例えばカイトップのアルミやレジャーボートなど)なら、こちらの免許でも乗ることが可能だ。

免許の種類

ボートからのバスフィッシングを存分に楽しむには二級を取るのが吉

同じ二級でも2種類の免許があるので注意!!

試験に出る問題に隠された 数々のキモを学んで帰ろう!!

独学よりも圧倒的に
短時間で合格率アップ!!

スクールでの申請を済ませたら、まず最初に学科講習を受ける。試験勉強は独学でも可能だが、スクールの授業は試験に出る問題に隠された数々の「キモ」を教え、てくれるため、独学よりも効率良く勉強ができる。たった1日の授業と侮ることなかれ! 要点をおさえたスクールの授業を受ければ、1日で学科の合格率は限りなく100パーセントに近づける。

授業の項目は大きく分けて4項目ほどの項目で勉強することも、知らないままポートに乗れば、命を落とすことになりかねない重要な内容だ。免許を取った後のことも見据えて、しっかりと授業に耳を傾けよう。



今回講習が行われたのは、中央自動車学校の学科講習会場。受講生は約20名。講習は午前9時から午後5時までの1日で行われ、試験問題に隠れたキモも学べる。

その1 操縦者の心得 及び遵守事項

常識人なら考えなくてもわかる!? 船長の心得

この項目で何を学ぶのかというと、まずは船長の心得。水の上では道路のような移動範囲を制限するものもなく、随でいうところの信号や道路標識も任意的に少ないので、航行中は安全で周囲に迷惑がからないかを自身で判断しなきゃいけないことが多い。その判断力を養うための授業がココで行われる。その他にも、海や湖に出た時に注意して通らなければいけない道具の種類や、水の上のルール(遵守事項)を破った場合に受けるコワイ罰則の数々なども、この項目で学ぶ。

漁師たちが使用する 漁具や漁法もお勉強!!



右のイラストが「はえ縄」で左が「刺し網」。名前は何かとなく聞いたことのある漁具も、イラストで改めて実際のカタチをお勉強。

学科講習は少人数制で行われる。講師の神田さんと距離が近いので、内容のひつひつとつを聞き流さずに集中して講習を受けられる。

その2 交通の方法

陸上と違った水上での
交通ルールが存在

お次の項目「交通の方法」。この項目では、名前のとおり水上での交通ルールを学ぶ。例えば「左から大型船が高速接近して衝突しそうになったら?」「狭い水道などのわん曲部を航行する時には?」といった具体的な例をあげながら、それに対して「どう判断してどう航行するか?」を学んでいく。しかも、同じ水の上でも、港の中や船の行き交いが激しい場所では、その場所独自のルールも存在する。なかなか一紙読めではいかなので大変だ。

日本のクルマ社会で使う 交通ルールとは逆の右側交通



水上では左側通行が基本。日本では右側通行が基本。



講師 神田義久
今回、学科の英技を指導して頂いた船長講師の神田さん。大の釣り好きということで、ブログ「釣り好き親父の釣り術」(http://blogs.yahoo.co.jp/yoshimimaru08)でも日々の釣果を報告中。

水の上での交通
ルールはとも
複雑なので要注意!!

例題①

Q 小型船舶で航行する場合の
注意事項として適当でないものは、
次のうちどれか。

- (1)さまざまな人が同じ水域を利用していることを頭に入れておかなければならない。
- (2)基本的には自分自身であらゆる事象に対応しなければならない。
- (3)霧や雪などで視界が制限され、自船の位置がわからなくなってしまう場合がある。
- (4)速力の制限がないので、自分さえ安全ならば高速で航行してもかまわない。

答え.(4)

この問題は(4)が正解。周囲を無視した自分勝手な高速航行はNGだ。こういった変りをする人は船長失格であります!

例題②

Q 港内における一般的な航法として
誤っているものは、
次のうちどれか。

- (1)航路内では、海難を避けようとするときや人命救助をするときなどを除き、投錨してはならない。
- (2)汽船が港の防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、入航船は防波堤の外で出航船の進路を避けなければならない。
- (3)港内及び港の境界付近においては、他の船舶に危険を及ぼさないような速力で航行しなければならない。
- (4)港内において、防波堤の突端を左舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

答え.(4)

港の中での交通ルールを知らなければ答えが(4)だとは判断不能。この場合、防波堤の突端に近寄らずに、遠ざかりながら航行するのが正しい。

船にまつわる様々な知識を身につけて、完璧な船長を目指せ!!

覚えることが多い反面試験でも高配点の項目

本書の学科試験でも一番高配点の「運航(一般)」なので、覚える事が結構多い。船体各部の名称、エンジンの構造、コンパスの読み方、航海計算、ロープと、幅広い内容で一冊目が難関しようになるので注意! また、水上で万が一事故に遭った時の対処法もココで勉強。水上ではトラブルに遭った時に救助が遅くなる場合が多いので、まずは自身で適切に対処できる力が必要なのだ。



内容が難しくなって来るツバサ、手紙をサボって学科講習をアメるとこうなるので、今日は絶対にそうならないようにしよう!!(笑)!

船に乗る男は天気にも詳しくなければならぬのだ!!

天気記号

☉	晴	☁	曇
☂	雨	☁☂	雪
☁☂	くもり	☁☂	雷は電光

中学校の理科で習った天気記号もイチャから勉強し直そう。結構やくもりの記号は覚えていても、雷なんかまで覚えていない人は意外と少ないんじゃないかな?

船体各部の名称がややふやだと試験問題の内容がちやんと理解できない場合アリ。毎日行われる実技試験でも苦戦するぞ!

ボートの各部名称や備え付けのパーツもシッカリと覚える



例題③

Q 4ストロークガソリンエンジンにおいて、燃料油が燃料タンクからシリンダーに入るまでの経路として正しいものは、次のうちどれか。

- (1)燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター → 吸気マニホールド
- (2)燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド → キャブレター
- (3)キャブレター → 燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド
- (4)吸気マニホールド → 燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター

答え。(1)

この問題は4ストロークエンジンの細部まで理解していないと解けない難題。この問題の他にも「運航(一般)」では結構な難問が多い。

結びの中でも特に使用頻度が高いのが「もやい結び」だ!!



①ロープの長い部分に小さな輪を作り、②ロープの端を作った輪に下から通し、③下方方向にくぐらせてから端を輪に戻して、④両端から締めて完成! 右下の解いた状態の写真も参考にしながら結んでみよう。

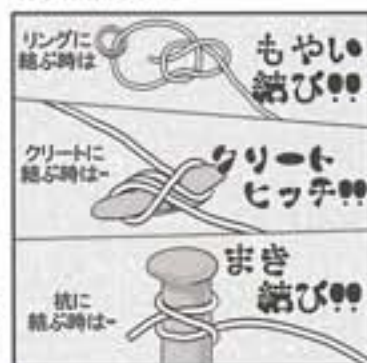
目指せ、結びの達人!! 反復練習で地道に覚える

船を係留する時、ロープとロープを直接結び、落水時に差し出されたロープを自分に巻きつける時など、船に乗っていると、いろいろな場面が必要になるのが「ロープワーク」だ。用途によって最適なノットがあり、授業では通材漁所の結びを8~10種類ほど学ぶ。特に、もやい結び、まき結び、クリート止め、いかり結び、は試験でも出題率が高いのでくり返し結んでみて練習しよう。また、自分では「結べた」と思っているけど、微妙に間違っている可能性もあるので、結び終わった後に結びが合っているかチェックしてもらうことも重要だ!



本講義に選んだロープが、結びの練習用だと学科講習で初めて知ったツバサ。もちろん、この日はどの結びも満足に結べなかった。

種類のリンゴにはもやい結び、船にボートを係留するにはまき結び、用途により最適な結びが出来るように練習あるのみだ!



釣りで使うノットとは別の船用ノットをお勉強

とある日の授業風景4コマ





ボートが操縦できるのは、練習場内にある専用ボート「ボート」です。ボートには、ボート免許の取得に必要となる各種機器が搭載されています。



実技講習

本番さながらのボートを使った講習で実技試験の対策もバッチリ!!

安全第!! これは車もボートも共通だ

学科講習を終えたら、次は実際にボートに乗っての「実技講習」だ。試験用のボートとはほぼ同じものを使って、常に本番を想定した実践的な講習が受けられる。実技講習で特に重要な項目としてあげられるのは安全確認で、ボートを前進させたり、左右にハンドルを切ったりする時は、必ず「前・後・左右を指差し確認すること」その時に「前後左右よし」と必ず叫ぶことが必ず必要です。ボートに乗って初めて操縦をしてみると、自分が思い描いていた通りに船が動かないことに驚く人も多いはず。慣れるまでは少々時間がかかるが、実技講習が終わったら本番まで乗れるチャンスは無いので、ここでしっかりと慣れておくことが大切です。

1 発航前の点検

発航前の点検作業。船体と操縦席、エンジン、法定備品、をそれぞれ点検。このタイミングでロープワークの試験もやることが多い。

法定備品の点検



写真の信号紅炎やあかみは数ある法定備品のなかでも代表的なものだ。チェックした後は「～よし」の音声も忘れずに行おう。

船体と操縦席の点検



船尾よし!! 船首よし!! 右舷よし!! 左舷よし!!

3 解らん

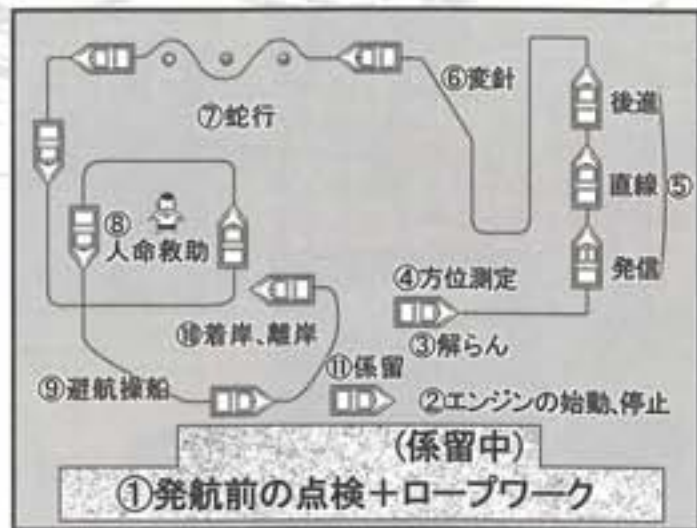
船体を係留しているロープを解くことを「解らん」と言う。大体の小型船舶は、船首と船尾の2ヶ所にロープが付いて止まっていることが多い。

船にある「クリート」という部分にロープを引っかけてから解らんと、ロープをそのままにしておくと船外側のプロペラに絡む等のトラブルになってしまう。



柱間に止まっているロープを解いた後、ロープを持ったまま船に乗り込み、家内て船尾にいない場所に着いておこう。

実技試験の実施概要はコレだ!!



エンジンの点検



まずは船体の後ろにあるハッチという箇所を開く。この扉を開くと、中にエンジンがセッティングされており、中の確認を行う。

中にあるエンジン全体図。ドコを何の点検をするかは全部覚えるのは大変なので、講習後もテキストにある写真を見て復習だ!



目で確認できないエンジンオイルの点検はレベルゲージを引き抜いて確認、くれぐれもオイルの味まで確認しないように(笑)!

2 エンジンの始動・停止

①の点検作業が無事終わったら、いよいよエンジンの始動だ。こんな荘重な場面でも試験官の鋭い目が出る。チェック項目は特に忘れやすいので注意!

暖気運転時のチェックポイント



暖気運転時にはリモコンレバー下部のボタンを押しながらレバーを上にする。こうしないとクラッチが入ってボートが前進してしまうぞ!

エンジン始動時のチェックポイント



プロアスイッチというボタンを押してエンジンルーム内を確認した後、エンジンを始動させる。始動させる前にリモコンレバーの中立確認を忘れずに!

8 人命救助



救命者発見!!

救命者に見立てたブイを水中に設定し、それを救助に向かう。低速でブイに近づくため、船の舵が利きにくく難易度の高い試験項目だ。

これが救命者に見立てたブイだ。水上で目視確認後、船の左舷から救助するか、右舷から救助するか、どちらかを申告する。

救命者(ブイ)を発見! ブイに近づく前に離れた場所でエンジンを中立にして惰性でゆっくりと近づく。救命者をエンジンに巻き込まないためだ。

慣え付けのポートフックを使ってブイをゲット! もし、手で掴く距離にブイがあったら、そのままフックを使う事にしてもOKだ。



9 避行操船

航行中に起こりうる衝突の危険をパネルで示して、対処法を見る。パネルごとに対応が違うので、それぞれに適切な操船をしよう。

見覚えの無いパネルが出てきても焦らずに対処



神田先生が持っているのが避行操船試験用のパネル。このパネルを見て、どういった操船をするかを自分で判断し、実際にやってみるのだ。

見覚えの無いパネルが出てきても、学科講習で学んだ知識を使えば、どういった操船するかはスグにわかるはず。操船中だけじゃなく!

4 方位測定



磁気コンパスを使って方位の測定ができるかどうかを見る試験。見慣れないコンパスだが、一度やりかたを覚えてしまえばとても簡単だ。

コンパスは真方位と磁方位をそれぞれ測定する。真方位は磁方位に磁偏角を加減して求め、磁方位はコンパスの針が指す方位だ。



手書きのメモに方位測定の方法をメモして見たい。磁方位と真方位の差を磁偏角と呼ぶ。磁偏角は地域によって異なる。この試験では磁方位と真方位の差を求め、真方位を算出する。

5 発進、直進、後進



船尾よし!

最初の発進と後進、後に出る離岸の際は、前後左右の確認の他に船尾の確認もする。船尾側に移動して大きな声で「船尾よし」。



船舶を発進させた後、指示された目標に向かって直進、停止した後に後進する。船舶操縦の基本中の基本をチェックする項目だ。

発進や直進よりも、後進のほうがムカしい。指示された目標に向かって大きく外れないように、こまめにハンドルを調整して対応しよう。

6 変針

直進中に進行方向を変えること。直進している時の速度を保ったままで、キレイに曲がるかどうか、この項目のカギとなる部分だ。



速度を維持しながら曲がる他にハンドルを急に大きく回さないのもコツ。急ハンドル、急発進、急停止、操船に「急」がつくことは罰法度だ。

10 着岸・離岸

着岸



桟橋から船を出すことを「離岸」。桟橋につけることを「着岸」という。人命救助と同様に低速で行うため、船の舵が利きにくく難易度が高い。

離岸

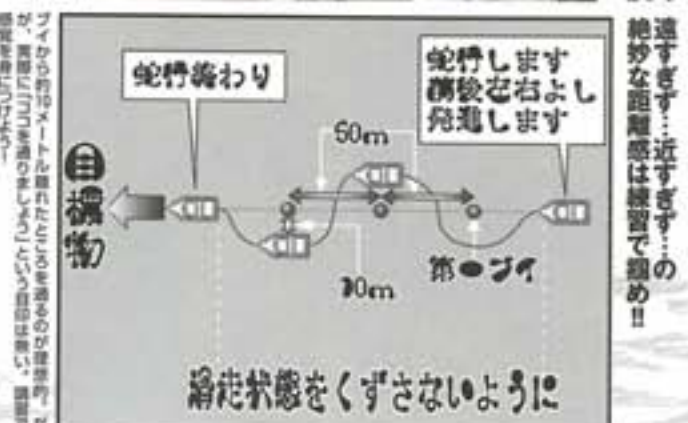


岸から離れる前にポートフックを使って船を沖に強く押し出す。船尾がぶつかる危険があるので、後進離岸よりも前進離岸のほうが難易度が高い。

岸への進入角度は約30度。早めにエンジンを中立にして、惰性で岸に近づく。船が止まったら、最後はポートフックを使って船を沖に近づけよう。

7 蛇行

先ほどの変針を連続で行うのが蛇行(連続旋回)だ。滑走状態を保ったまま、スイスイとブイの間を蛇行するのはなかなか難しい。





ツバサのへっぴり 3 アドバイス

試験に使う船に乗れるのはこの日限り。不安に思う項目は徹底的に練習させてもらいましょう!

全ての項目を練習したら実技講習は終了。最初は不安だとしても講習を受けた後は「本番も怖くない」と思えるはずだ。

コレで完ぺき!!



11 係留



最後に行うのが、桟橋に船を着けた後に、ロープで船を繋ぎ止める「係留」だ。学科試験で習ったロープワークで、確実に船を止めていこう。

悪い例
良い例



下の写真はロープに押し当てると、船が動いてしまう。良い例はロープが船の側面にしっかりとかかっている。船が動かないように注意しよう。

試験官に「～よし!!」指差し確認も忘れずに
大きな声と多少オーバーなくらいの指差し動作で確認すること。これで試験官にちゃんと事前勉強をしていることをアピールできる。



大きな声で「～よし!!」指差し確認も忘れずに

大きな声と多少オーバーなくらいの指差し動作で確認すること。これで試験官にちゃんと事前勉強をしていることをアピールできる。



実技試験合格のウラ技!! 「オウム返し」で流れを掴め!!

試験官が言ったことをオウム返しして、自分がどう動くかを再確認。本番で頭が真っ白にならないためにもぜひ実践してみてください!



ツバサのへっぴり 4 アドバイス

実技試験は勢いのある元気な声を出していきましょう! 試験官への印象も良くなりますよ!

今なら、格安の取得料金が更にリーズナブルに!!

電話での問い合わせ時に「ルアーマガジンを見た」と言って、申請時に下の特別割引券を出して頂いた方は、特別料金にてご案内します。今ご紹介した二級小型船舶免許士免許。その取得合計費用8万1700円を、特別料金の7万8000円でご案内します。



全ての小型船舶免許に対応する高実績の人気スクールだ!!

「合格なんて!」を合言葉に、高い合格率を誇る人気のボートスクールがE&Mだ(2010年の二級の合格率は学科、実技ともに98~99%、湖川二級の合格率は学科は100%、実技は97~98%)。優秀な学科講師と、経験豊富なベテラン講師陣による実技講習がツボの優良教育所で、信頼度は全国でもトップクラスのスクールだ。

住所: 東京都中央区築地4-14-12-1F TEL: 03-5609-2675 受付窓口営業時間: 平日 10:30~18:30、日曜祝日(12:00~17:00)、土曜定休 HP: <http://www.gardm-inc.com/>

試験 (学科+実技)

講習を終えたらいいよ!いいよ!試験だ! 習った事をそのまま出せばOK!!

3項目それぞれで5割以上、全て合わせて6・6割正解すれば合格

科目別の配点	交通の方法		満点
	120点	140点	
配点合計	一般科目 500点		
合格基準 (全て満たすこと)	12問中6問以上	14問中7問以上	24問中12問以上
	一般科目 50問中33問以上		

学科試験の配点と合格基準がコレ。全項目合計で33問以上正解という合格ラインは、事前勉強を怠らぬと決めて高いハードルではないはずだ。

科目	試験時間	試験形式
1	15分	マークシート
2	15分	マークシート
3	15分	マークシート
4	15分	マークシート

回答はマークシートに記入。回答をマークする箇所が1つずつ書いていて全問不正解! という事がないように注意して記入しよう。



試験会場では、一番最初に視力と辨色力(色の違いを見分けの力)をチェック。視力は両眼とも0.6以上が条件だ(矯正でも可)。

今回ロケで協力して下さったスクールは
ボートスクールE&M

ボートスクールE&M 二級小型船舶免許 特別割引券

有効期間: 平成23年8月30日まで有効

